

平成19年（行ウ）第16号 埋立免許差止等請求事件
原告 大井幹雄外162名
被告 広島県

意見陳述書

平成19年7月2日

広島地方裁判所民事第3部 御中

原告
大井 幹雄 印

私達の町、鞆の浦を少し紹介させていただきます。

万葉の歌人大伴旅人は妻をしのび

「吾妹子が 見し鞆の浦の むろの木は

常世にあれど 見し人ぞ無き」

と詠み、南北朝時代の終わりに足利尊氏は政権奪還を胸に大軍を率いて湊川の合戦にこの鞆港から出発したのであります。室町時代の最後の将軍義昭は、信長に追われ、この地に鞆幕府を開きました。この時代の女房言葉¹⁾が今なお私達の日常の会話の中に残されております。

1) 女房言葉・・・室町時代初期頃から宮中に仕える女房が使い始めた隠語的な言葉である。上品な言葉遣いとされ、主に衣食住に関する事物について用いられた。

江戸時代に朝鮮通信使²⁾は全 11 回の訪日には必ずこの港を寄港地と致しました。幕末の足音が聞こえてまいりました頃、京都より三条実美公以下 7 人の公家達は 400 人の船団を従えて、この港を訪れ時代の流れを審議した所でもあります。

維新の風雲児坂本龍馬は時の御三家紀州藩相手に命がけの談判「いろは丸事件」³⁾の舞台としてその足跡は、枚挙にいとまがありません。

琉球使節⁴⁾のたびたびの来訪など私達の住む瀬戸内の最重要寄港地鞆の浦という町は日本の歴史の転換期には必ずと言っていい程ドラマが展開されて居る地でございます。

この度、この鞆の浦の中心に、即ち、心臓と思える位置に、バイパスを造る計画が再浮上してまいりました。これを造れば元気な町が出来るという企画のようでございます。24 年前の古い計画のようでございますが、私達は今なお無節操な行為であると思っております。

本年は朝鮮通信使訪日から 400 年という記念の年となっております。

「日東第一景勝のその名も高き〜」これは永年愛唱された鞆小学校校歌の出だしでございます。通信史の高官の鞆の浦に依せるこれ以上の贅辞はないと思います。

「島かと思えば岬なり 岬かと思えば島なり」平安時代の梁塵秘抄⁵⁾の中から鞆の浦の挿絵と一緒に戦前迄文部省国定教科書の中に掲載されて居る一節でございます。

国は大正 14 年「名勝 鞆公園」として定め、その美しさを永く約束しております。

2) 朝鮮通信使・・・日本へと派遣された李氏朝鮮からの国使の名称。

一般に朝鮮通信使と記述する場合は、狭義の意味の江戸時代のそれを指すことが多い。

3) いろは丸事件・・・1867 年 4 月 23 日、海援隊の武器などを積載したいろは丸と、紀州藩の軍艦・明光丸が鞆の浦沖の六島付近で衝突した。坂本龍馬と海援隊は紀州藩を相手に日本初の万国公法により、談判を行った。

4) 琉球使節・・・薩摩の侵攻以降、琉球国中山王府が徳川幕府に対して送った使節団をさす。これら使節の往来は 1634 年から 1850 年までの間に 18 回を数えた。

5) 梁塵秘抄(りょうじんひしょう)・・・平安時代末期に編まれた歌謡集。今様歌謡の集成。編者は後白河法皇。治承年間(1180 年前後)の作。

本日地元から心配して掛け参じて下さっている同郷の仲間達と共に、私達は生まれ出た時から港に浮かぶ船辺の水の音や朝夕必ず潮が動くその潮騒の音、目を覚ませば海と舟と空は日常の生活の一部なんです。

砂浜は自然が与えてくれた、人間が生活しておる最高の空間となっております。浜辺の無数の貴重な生物や陶磁器の破片をみつけては、マニアたちは宝物がいっぱいの宝石箱だと絶賛致しております。

瀬戸内海一の潮の干満の差を活用して多いときで 300 隻の舟を修理や舟虫の清掃作業場として焚場の跡も見事にその姿をみせくれました。このように、当時江戸時代の鞆の経済力の最重要産業として大切にされた場所が残っております。単なる愛おしさ、懐かしさだけでなく、先祖の生きた智恵と汗の跡を感じることが出来る場所なのでございます。

一度、鞆の浦へ来てみて見ていただけると、うれしゅうございます。

港を見下ろす高台に自然が造った地理的条件を上手に活かし六ヶ寺の本堂は全部港に向けて建てられております。其の境内には無数の先祖墓が現代の私達を見守ってくれて居る姿を伺い知ることが出来ます。

この景観や環境こそこの地の人々との長い生活の歴史が積み重ねられたものと信じます。この風土がおだやかな町並みとなりゆるやかな裏通りは人々の安らぎの場となり、温もりを伝えているのではないのでしょうか。

毎月のように催される行事や祭りも全てこの港から人の往来と一緒に伝えられ、鞆の人達に依り鞆らしくそしゃくされ今も継続されて居ます。この奇蹟とも思われる日本の港町の原風景と一体となって織り成す浜辺の生活の姿があることが私達鞆の浦の誇りとなって居ることを解って下さい。

私事のように恐縮でございますが、老人にやさしい、子供達に夢や希望のもてる町づくりを目指し町おこしグループを立ち上げ 20 年が過ぎました。平成 4 年に「21 世紀を目指す鞆の町づくり」と題して当時まだ若かった私達は多くに仲間達と、ゲストに専門の諸先生方を交え、無心で白紙の上にマスタープランを画いていきました。すでに埋立架橋計画はあったと記憶しておりますが、今の現代社会に道路や駐車場の必要性は当時の若かった私達も理解して居りました。道路のつけ方が山側か海側かの議論も、当然のように話し合った経緯がございます。しかし鞆の町のことを知る程にかけがえのない価値のあることに気付かされ、海側を選択する理由が無くなっていった訳でございます。

今は 21 世紀となり、あの時、私達は山側トンネル案を選択していった事の正しさを確認致しました。時代にあわせ一昨年（2005 年）再度、専門家の先生や長期滞在し研究をされた大学院生達の新しい発想を補足し、改訂版をつくりました。県と福山市長の元へ私達代表 3 人で提出しております

同時期に県と市に「専門家を交え再度客観的に議論の場を作ってください」という地元住民の署名約 1,300 名を携えてお願いも致しました。其後行政の人達と住民の町づくりという視点で話し合えるチャンスを試みましたが県、市の壁は厚くございました。基盤整備という名の公共事業を、そこに住んで居る人達に納得できる説明もしないまま一刀両断にしてしまうという行為はこの法治国家に許されない行為として立ち上がりました。太古の昔より鞆の地に生まれ育てられた鞆っ子の DNA は生き続けております。

町づくりの主役はこの地に生活している人達である筈です。

私は、20 年間ふる里造りに活動してまいりましたが、このことを確信いたしました。

現在、私は国の重要文化財太田家住宅⁶⁾の管理運営の責任者をやらせていただいております。日本の今残る屋敷としては瀬戸内海最大のものと思いますが、この座敷には庭らしき大きなお庭はございません。鞆港の中心にへその尾の様にし、全港湾が望めるように設計されて居ります。出航入航の様子、天然の良港をみせて来客を喜ばせた。即ち港の風景を借景とした造りとなっております。

町の総宿老をし乍ら、人々にも豊かさを提供した先人達の尊さを身をもって知る環境に居ります。

生活と一体となった、景観や環境がこの町に在るからこそ、大正・昭和時代に関西の雄 森下仁丹翁⁷⁾を生み、宮城道雄⁸⁾は名曲「春の海」を創作しました。

6) 太田家住宅・・・平成 3 年（1991）5 月 31 日に重要文化財指定を受けた、瀬戸内海を代表する建造物群。建物は、主屋や保命酒醸造蔵など 9 棟からなる。

7) 森下仁丹翁・・・森下仁丹創業者で森下博氏。銀粒仁丹が有名な製薬会社。日本の広告王と称された商品広告の先駆者でもある。

8) 宮城道雄・・・日本を代表する作曲家・箏曲家である。オーケストラとの共演や邦楽器によるカンタータの作曲。また、十七絃、八十絃、短琴、大胡弓などといった楽器開発。

戦前戦後の物資不自由な世の中で洋画界の天才緒方亮平⁹⁾は最後迄靨の海を描き続け、私達に今なお新鮮な感動を与えて下さっております。

日頃なじまない法律論は諸先生方にお力を借り、郷里の人達だけでなく、全国の皆様の熱い視線を後に感じながら、日本の美しい国づくりのバロメーターとなるべく審判を仰ぐに到りました。

御清聴ありがとうございました。

9) 緒方亮平・・・本郷洋画研究所に学び、岡田三郎助に師事。27年帝展初入選。34年特選。光風会会員のち理事。日展参事を歴任。